

さて、五月下旬に五年生が自然学校へ行きました。一宮北小学校の子どもたちとともに、衣食を共にした集団生活を送り、たくましさと粘り強さを身につけたように思います。そして、引率教諭は、児童の安全や体調管理のために、夜中に部屋を見回るなど、多くのことに気を配りながら勤務しました。そして、学校にいる職員も、不在教諭の代わりに授業やサポートをするなどして、学校運営を支えました。

また、放課後の職員室では、日々、学習に対する子どもたちの困り感を少しで

朝陽が眩しく、田には青々とした苗が  
美しく連なり、軒先にはツバメが住み始  
めた様子を目にしますと、今年も少しず  
つ夏が近づいていると感じます。

地域のみなさまにおかれましては、ご  
健勝にお過ごしのことと思ひます。ま  
た、PTA会員のみなさまには、製茶作  
業にリサイクル活動等、学校教育にご協  
力いただきましたこと、心より御礼申し  
上げます。

本校での勤務がこの四月から始まり、  
二ヶ月あまりが経ちました。子どもたち  
に出会つてすぐ、なんと明るさと人懐つ  
こさがあり、子どもらしく、そして勢い  
がある子どもたちなんだろうと思いまし  
た。この良い部分を特に大事にしたいと  
思っています。

教頭 高井 敏子  
には青々とした苗が

嘗  
み



第81号  
宍粟市立  
ひま一宮小学校

## 学校教育目標

も減らそう、理解を深めさせようと教材研究を重ね、指導力の向上に努めています。そんな職員の日々の姿から思い出しました、ハガキ道伝道者である坂田道信さんのお話をご紹介します。

先生は、昼飯を食べない人でした。なぜ食べないかというと、終戦直後、昼の時間になると弁当を持ってこられない子どもたちが、さーっと教室から居なくなってしまうからです。ひょつと僕が校庭を見たら、その子たちが遊んでいたんです。その時から先生もピタッと昼飯を食べるのをやめて、その子たちと楽しい遊びをして過ごすようになりました。

以来、昼飯はずつと食べない人生を送るんですよ、晩年になつても。

これは戦前の時の話ですが、「明日は工作で切り出しナイフを使うから持つておいで」と言つて児童たちを帰したら、次の日の朝、「先生、昨日買ったばかりのナイフがなくなりました。」と言う子が現れました。

先生はどの子が盗つたか分かるんですね。それで全員外に出して遊ばせているうちに、盗つたと思われる子どもの机を見たら、やっぱり持ち主の名前を削り取つて布に包んで入つていた。

先生はすぐに学校の裏の文房具店に走つて、同じナイフを買い、盗られた子の机の中に入れておきました。

子どもたちが教室に帰つてきた時、「おい、もう一度ナイフをよく探してごらん。」

## 6月の行事予定

- 16日(月) クラブ活動  
17日(火) 読書ボランティア  
授業参観・教育講演会・引き渡し訓練  
18日(水) 創立記念日  
20日(金) 租税教室(6年)  
しそう森林の探検隊(4年)  
25日(水) 情報モラル講演会(4・5・6年)

## 7月の行事予定

- |        |               |               |
|--------|---------------|---------------|
| 2日(水)  | 移動図書館         | 歯科教室(2・5年)    |
|        | 貯金日(低)        | しうる森林の探検隊(4年) |
| 3日(木)  | 貯金日(高)        |               |
| 4日(金)  | 移動図書館         |               |
| 7日(月)  | 委員会活動         |               |
| 8日(火)  | 心臓検診(二次)      |               |
| 9日(水)  | 小中合同自治会別懇談会   |               |
|        | しうる森林の探検隊(4年) |               |
| 14日(月) | クラブ活動         |               |
| 15日(火) | 読書ボランティア      |               |
|        | 給食最終日         | 14時45分下校      |
| 16日(水) | 短縮授業          | 11時30分下校      |
| 17日(木) | 短縮授業          | 11時30分下校      |
| 18日(金) | 終業式           | 11時下校         |
| 22日(火) | ～             | 個別面談          |
| 25日(金) |               |               |



まず一つ目は、教師が子どもの背景を深く把握していたこと。ナイフを盗ることは決して良くありません。しかし、そうせざるを得なかつた心情や環境を知っていたからこそ、愛情ある言葉がけと正しい導きができます。

二つ目は、教師と子どもの関係性がとても良く、子どもに安心を与えてること。これは、一朝一夕で育まれるものではありません。教師の人となりや教師の日々の何気ない気配りから、絆が生まれると思います。三つ目は、周囲の子どもたちをも育てていること。友を疑う心を一掃し、これからも、ともに生きていく集団に、仲間意識を芽生えさせていきます。

6月8日のリサイクル活動では、たくさんのリサイクル品を集めることができました。お忙しいところご協力いただきありがとうございました

一宮南学園が始まって二年目を迎えます。学校として地域のみなさまが足を運びやすい場所にしていくとともに、子どもたちが学力のみならず、人としての優しさや強さを兼ね備えた人間力を身につけられます。職員は力を合わせて努力してまいります。どうぞお力添えをよろしくお願ひします。

と、言うと、「先生、ありました。」  
と。そして、「むやみに人を疑うものじゃ  
ないぞ。」と、言うんです。その盗った子  
は黙つて涙を流して先生を見ていたと言  
います。　　↙引用『致知　二〇〇三年』より  
このお話を読んで、人を育てていく上で大  
切なこととして、心を打たれたことが三つ  
あります。

自然学校を終え、この体験談と子どもたち・教職員を重ね合わせました。学校が子どもたちにとつて居心地良く、安全・安心な居場所であるべきことは当然のことです。そのように、どの子も感じられるように、教職員は日々、子どもの個性を受け入れ、互いに認め合うよう導き、タイムリーに声をかけ、評価を繰り返し、子どもたちの自己肯定感を上げようとしています。